

第2回鹿屋市総合教育会議

【報 告】

1 第1回鹿屋市総合教育会議の結果報告

令和6年11月5日

鹿屋市

I 第1回鹿屋市総合教育会議の結果報告

開催日時

令和6年7月29日（月曜日）15時から16時40分

開催場所

鹿屋市役所 本庁舎 3階 庁議室

協議事項

【協議事項】

- 教育大綱の策定方針（案）について
- 第3期教育大綱の基本理念や基本目標について
- 本市の教育行政の現状と課題及び重点事項について

会議で出された主な意見等

- 教育大綱の策定方針（案）、第3期教育大綱の基本理念や基本目標について（第3期教育大綱に盛り込むべき視点）
 - ・ 将来の予測が困難な時代において、持続可能な社会の創り手の育成
 - ・ 社会の目指す方向にウェルビーイング（幸せや生きがい）の視点を追加
 - ・ 子どもを育てるには、学校や家庭・地域の役割分担や連携が重要
 - ・ シビックプライドの醸成が必要 など
- 本市の教育行政の現状と課題及び重点事項について（委員から出された主な意見）
 - ・ 地域行事への子どもの参加率が低い参加を促す方策はないか。
 - ・ ボランティア団体や寺子屋、子ども食堂などのツールを組み合わせ、地域の仲間づくりを促す取組はできないか。
 - ・ 女子高をIT女子を育成する基盤にできないか。 など

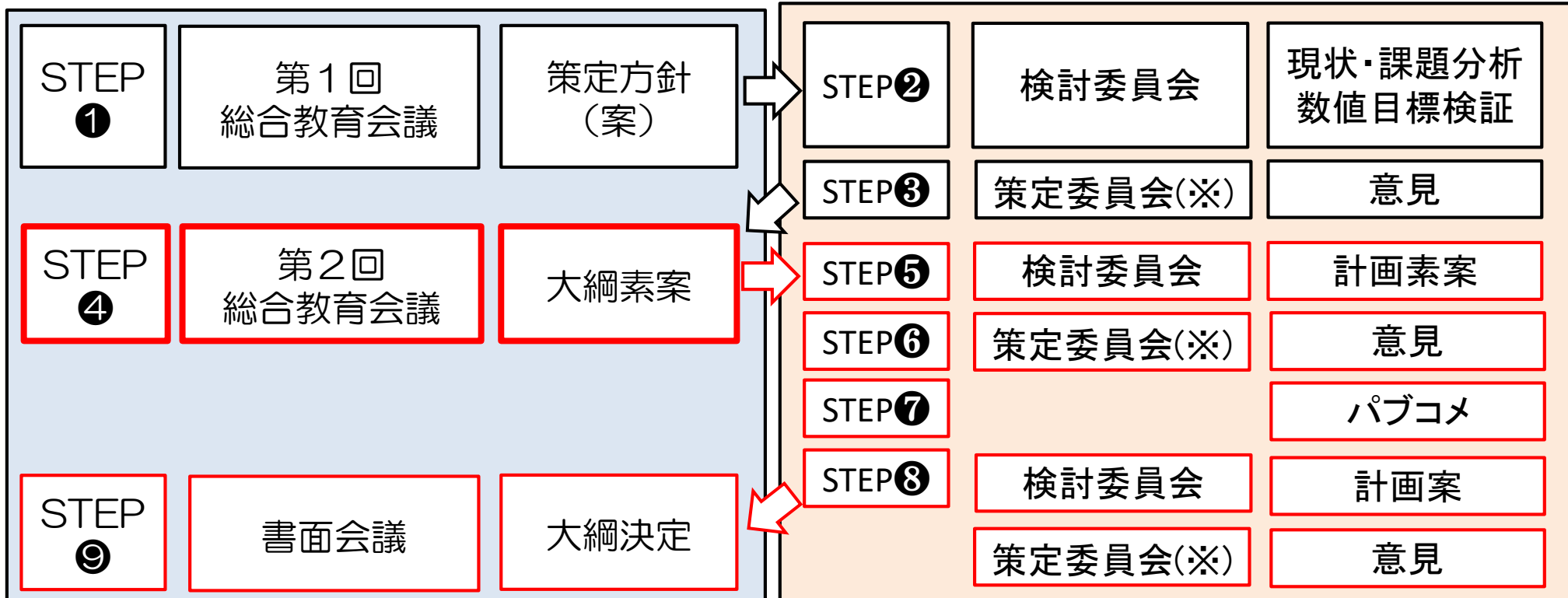
I 第1回鹿屋市総合教育会議の結果報告

策定方針

- 総合計画の改定作業と連携しながら、策定作業を進める。
- 現大綱の基本フレームを基本とし、国や県の教育振興基本計画を参酌
- 教育を取り巻く環境の変化や本市教育行政における現状と課題を分析
⇒ 教育振興本計画の策定の中で大綱の素案を作成。

教育大綱(市長部局)

教育振興基本計画(教育委員会)



※策定委員会とは、学識経験者などからなる有識者会議のこと

(参考資料) 第1回会議で出された意見の教育大綱への反映状況

1 基本理念や基本目標に関する意見

意見

- 国の教育振興基本計画のキーワードは、社会の担い手の育成から「社会の創り手の育成①」に変更があったこと、社会の目指す方向に「ウェルビーイング向上②」の視点が追加されたことである。
- 教育は将来の予測が困難な時代において、いかなる境遇でも幸せになる力を持った子どもを育てること③である。

(意見反映の確認方法)

左側青枠内に皆様からいただいたご意見を掲示し、「キーワード」に下線を引き、小さく番号を振っております。

右の赤枠内の「キーワードを表現した文言」について左側と同じ番号を振っておりますのでご確認ください。

教育大綱への反映状況

■ 基本理念に反映

～未来を創る①心豊かでたくましい人づくり～
現代は将来の予測が困難な時代と言われており、
(中略) 教育においては、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育んでいくこと①や、(中略) 人とのつながりや協働によって得られる幸せや生きがいについても向上させていくこと②が求められています。

■ 基本目標に反映

～未来を切り拓く力を培う教育①③の創造～
将来の予測が困難な時代において、未来を切り拓き持続可能な社会を維持・発展させていくためには、学び続ける人材の育成①③が求められています。

そのためには、(中略) 他者との協働や課題解決型学習などを通じ、深い学習を体験し自ら思考する力を育てる①③ことが重要です。

■ 基本目標に反映

～地域とともに活躍できる②生涯学習社会の実現～
教育を通じて(中略) 地域でのつながりによる幸せや生きがいを感じながら②、豊かで安心して暮らせる平和な社会の実現を目指すことが求められています。

(参考資料) 第1回会議で出された意見の教育大綱への反映状況

1 基本理念や基本目標に関する意見

意見

- 子どもを育てるには、学校現場だけでなく学校や家庭・地域の役割分担や連携が重要④。
- 市は人口減少が課題である。地方を再生することが大切であり、地方自らが問題を解決する力をつけていくことが必要⑤である。
そのための方策として、ボランティア組織を有機的に結び付けて、そこに教育も連携⑥していくことが必要。
- 子ども達にシビックプライドを持ってもらうには、鹿屋を知ってもらう、地域行事を体験できる、参加できる仕組みを作り、地域の一員として感じてもらうこと⑦が必要である。
- 学校・家庭・地域が連携するときに⑧学校の子どもは、みんな自分たちの子どもと思える感覚が育まれば、子ども達のふるさとを愛する心も育つ⑨のではないかと。

教育大綱への反映状況

- 基本目標に反映
～地域とともに活躍できる生涯学習社会の実現～
社会教育においては、学校や家庭、地域や企業等が連携・協働して人づくり、地域づくりを進める社会を目指し④⑥⑧、地域課題解決へ主体的に取り組む意識を涵養⑤することで、地域コミュニティの基盤強化⑦⑨を図ります。(中略)

地域の伝統文化への参画や保存継承のための活動を通じ、地域との絆を深め、シビックプライドの醸成を推進⑦⑨します。

【第1回会議を踏まえた基本理念等のキーワード】

- ・「未来を切り拓く力を培う」
- ・「学び続ける人材の育成」
- ・「深い学習を体験し自ら思考する力を育成」
- ・「人や地域とのつながりによる幸せや生きがいの向上」
- ・「学校や家庭、地域や企業が連携・協働して進める人づくり・地域づくり」
- ・「地域との絆を深め、シビックプライドを醸成」